

# DMS P/FU (DWIDP) JICA 便り

ネパール自然災害軽減支援プロジェクト・フォローアップ（水資源省治水砂防局）

No. 19 / 2006 . 3 . 31

3月に入り、カトマンズでは日中は気温が30度近くまで上がります。また乾季の真最中で10月末から雨が降らず、生活用水や水力発電に頼っている電力の不足が深刻になっています。3月中旬に数ヶ月ぶりの降雨がありましたが、電力等の不足状態は改善されていません。1月から開始された計画停電は、その後2度強化され、現在、午前・夜間の時間帯で毎日5時間の停電となっており、その他、計画停電以外の停電や、毎日の停電の繰り返しのためか事務所の電気系統の不具合が発生し、それによる停電も起こります。昨今、パソコンによる文書作成やメールによる連絡が業務の主流になっているため、多くの面で支障が出ています。



共同水場での行列（3月上旬）  
（Nepalnews.com の website 上から）

治安状況については、3月14日からマオイストが首都カトマンズ及び郡庁のある地方都市部に対するブロックード（交通遮断による経済封鎖）を実施し、カトマンズにおいては野菜を中心に物価が上昇するなど生活に影響が出ました。マオイストは4月上旬までブロックードを継続し、その後、ネパール全土における交通等のゼネストを呼びかけていましたが、20日にブロックードとネパールバンダは解除・撤回されました。ただしマオイスト系団体による3月末のバンダや主要7政党による4月上旬のゼネストなどが発表されるなど（3月末のバンダはその後、撤回）、業務及び生活面での支障が懸念されます。この他、地方においては連日のように治安部隊とマオイストとの戦闘、それによる死者・負傷者の発生（戦闘に巻き込まれた住民も含む）が報じられています。カトマンズ盆地内においても、21日夜にパタン市内で爆弾の爆発事件などが発生しています。

我々専門家は安全に十分注意を払いつつ、ネパールの災害の軽減を図り、災害で苦しむ人々が少なくなることを願って今後とも活動を続けていきたいと思えます。

## シンズリ道路土砂災害対策会議を開催しました

3月26日（日）午後、公共事業計画省道路局（DOR）にて日本の無償援助で建設したシンズリ道路第Ⅰ区（タライ地方のバルディバスから北の区間。シンズリ道路最南部）の土石流対策に関して、DORと治水砂防局（DWIDP）との会議が開かれました。シンズリ道路第Ⅰ区は、シュワリク地域と呼ばれる土砂生産・流出の非常に活発な地域にあり、

多くの渓流は降雨時には道路上を流下する状況（いわゆるコースウェイ）にあり、ムグリン ナラヤンガード道路と同様に、DOR が道路本体を、DWIDP が重要箇所の土砂災害対策を実施するという連携をとって進めているものです。



中央：ドゥルガ道路局局長

会議には、DOR からはドゥルガ（Mr.Durga Prasad K.C.）局長、レグミ（Mr.Dhruba Raj Regmi）副局長、アディカリ（Mr.Shiva Raj Adhikari）技師、鹿野島専門家、日本工営 片桐所長、DWIDP からはバツタライ（Mr.N.P.Bhattarai）局長、シャルマ（Mr.S.K.Sharma）副局長、マナンダール（Mr.S.P.Manandhar）第2事務所所長、武士専門家が出席しました。

まず DWIDP が調査した 工区全体の土石流発生の危険性がある渓流の概査の状況、DWIDP で今年度対策工実施予定の、優先度の高い渓流についての説明を行いました。DOR からは今年度の舗装工実施予定についての説明がありました。

今回の会議では双方の計画及び考え方についての情報交換・議論がなされ、また今後ともより一層の議論を図っていくこと、合同での現地調査を行うことなどが確認され、非常に有意義な会議となりました。

### 主な出来事・トピック

#### 桑畑の合同調査を実施しました

土砂災害や災害復旧工法の殆んどは“蛇籠工”をこの国では採用しています。植生工に関するの安価な工法を検討する観点から、またこの国に赴任している各分野の専門家との情報交換の中から、今回“桑畑”を合同で現地調査をすることになりました。伊藤（環境行政）、鹿野島（道路計画・管理）、武士（土砂災害）、中川（災害復旧）各氏と JICA 事務所の木下所員、其れに通訳のお世話・引率にて3月7日、ダーディング郡(Darding District) ドニベシ(Dhunibesi)村にある Silk Net Work Project 事務所と、同郡バンダラ(Bandara)村の養蚕農家の二箇所を踏査調査しました。現地では養蚕業の近代化を狙う JICA プロジェクトが進められており、事業ペースに乗り始めている様子でした。植生の繁茂力が旺盛なこの国ならではの工法に、市場では安価な“桑の苗”を利用する方法が具体化できないかと検討を始めたいと思っています。苗はタライ平野で生産され、事前注文を受け付けて5～6月頃各地方へ発送され、雨季の頃植樹がされるようです。輸送費は別途支払われ、各地での市場渡し価格には加算されず苗単価としては安価の事であるとの説明を受けています。



山腹の桑畑  
(プロジェクト事務所)



農家周辺の桑畑  
(バンダラ村)

## 日本大使館 大坂一等書記官が帰国されました

3月21日に、日本大使館の大坂剛一等書記官が、3年の任期を終え、ご家族とともに帰国されました。大坂書記官は経済協力班に所属し、主にインフラ関係の案件を担当され、DWIDPも無償援助その他、多くの面で指導いただきました。本当にご苦労様でした。後任には、国土交通省近畿地方整備局から吉野睦氏が着任されています。



空港にて

## フォローアップ活動を進めています

### バグマティ川地すべりモデルサイトの今年度分排水工工事が終了しました

地すべりモデルサイトのひとつであるブンガマティ地区における、今年度の排水工工事が3月上旬に完成し3月6日に現地の確認（検査）を行いました。現地での施工は概ね良好に行われていました。ただ、次年度に施工予定の排水工と接続する部分が、掘削した状態のままになっていたため、乾季中とはいえ多少の降雨でも、その部分を起点とし施設全体に悪影響を与えることが懸念されたことから、取り付け工の必要性を説明しました。



確認（検査）の状況

接続する一連区間を早期に完成させ、排水工の効果の確認をしたいと考えています。

### 第4事務所でのワークショップを実施しています

12月から始めている、DWIDP第4事務所での“スケッチ・ワークショップ”は、今月に入って第4事務所所長や副所長級のミシュラ技師の理解もあって現地ショップに成ってきた。職員は各々時間を割いて自分の現場を踏査しスケッチを描き、提出して来る。矢張り測量の基礎的知識を持っている彼らは習得が早い。大き過ぎるほど大きく現場を捉えてスケッチがアプアプしているのも在りますし、風景画を好んでいる様なものも在ります。しかし、現場が好きな人達である事がヒシヒシとスケッチから感じられます。“原因”“結果”そして“影響”を意識し、スケッチを組織へ報告・説明する為の“道具”として取り扱うようにと助言しています。Bandaが予告されたり中止されたりして予定がピンポン玉の様になる中、現地での飛び入り地元折衝にもスケッチは利用され始めました。



現地ミーティング



スケッチの例

## ヘイハチローの「ナマステ、ネパール」コーナー

(還暦を過ぎて、初めての海外、厳しい環境のネパールで技術協力・生活に取り組む「中川平八郎専門家」の「眼」で見た「ネパール」を紹介するコーナーです。)

### 小話三つ

何時も酔っ払っている親父さんが居ました。上と末の息子は家を出、次男は親父さんの仕事を継いでいました。親父さんと次男は仕事場でよく話します。“此処は、このようにするんだ！何しろこの仕事を何十年とやってきたんだからな！”と親父。次男はニコニコとしながら聞き、自分のしたいように仕事を進めます。次男は近所で評判の男です。ある人が言いました。“いい息子さんですね。”“いい息子だけれど、金にならん！”と酔っ払った親父は返事します。とある時、この親父が近所の人に苦情を訴えました。“味の無い、栄養も無い水ばかりを息子が飲ませるので、体がフラフラする。どうにか為らないだろうか？”。不審に思った隣人は、その次男に尋ねました。すると男は、“親父が下痢をしたので、水を沸かし冷めてから飲ましている。おなかの調子が、今ひとつ良くないんだよ。”と心配そうに囁いたそうです。他の二人の兄弟は、酔っ払い親父には話し掛けもしないのだそうです。

昔、カトマンヅ盆地には幾つかの王国があったそうです。その頃のお話です。ある国の王様が人を雇いました。その雇われた人は、隣国の王様の下で働いてお給金は雇った王様から頂いていたそうです。この話を聞いたのは現場帰りの車の中で、事務所の若いスタッフが楽しそうに話してくれたのでした。陽射しは柔らかく、現地での作業も満足できた様な雰囲気の中での事でした。この小話はこの国では有名な話だそうです。

友好という事は武器を持って攻め入ると言う事とは全く別な事ではありますが、今の時代は、多くの人々が一緒になって多くの経験を積んで新しい世界観を形成しているのかもしれないと喜んでいます。丸一年が経って、巷のユーモアのある笑い話を聴かしてもらえ生ってきたのかもしれないと喜んでいます。



カトマンヅの街角で

編集責任者：武士俊也、長期専門家：中川平八郎

電話：+977-1-5535502 Fax：同-5523528 E-mail：[dmspfu@wlink.com.np](mailto:dmspfu@wlink.com.np) URL：<http://www.dwidp.org>